

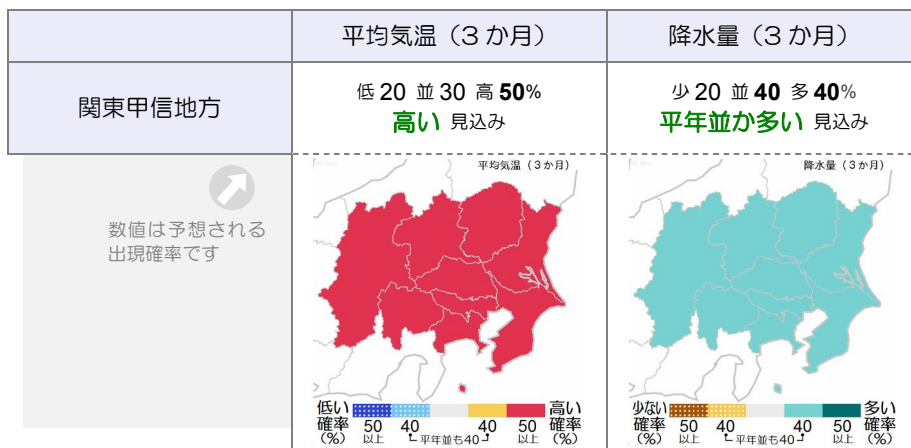
# 向こう3か月の天候の見通し

## 関東甲信地方 7月～9月

### 予報のポイント

- 太平洋高気圧が張り出す時期があるため、向こう3か月の気温は高い見込みです。
- 湿った気流の影響を受ける時期があるため、向こう3か月の降水量は平年並か多いでしょう。

### 3か月の平均気温・降水量


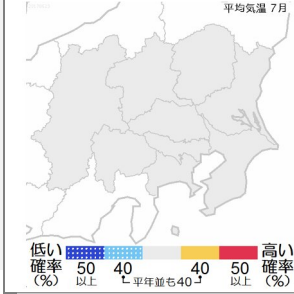
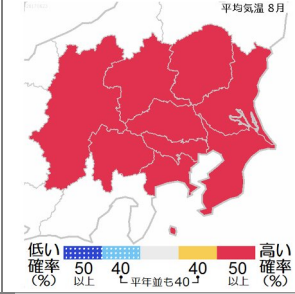
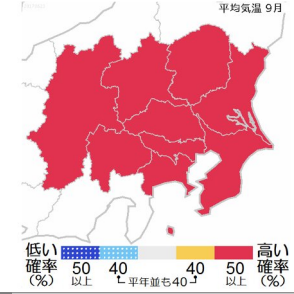

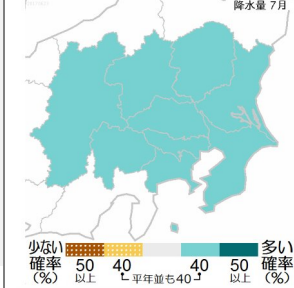
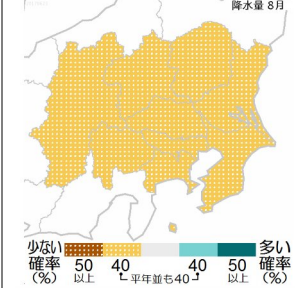
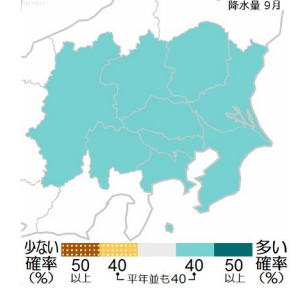


### 月別の天候

7月	8月	9月
期間の前半は、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。期間の後半は、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。	平年に比べ、晴れの日が多いでしょう。	天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。

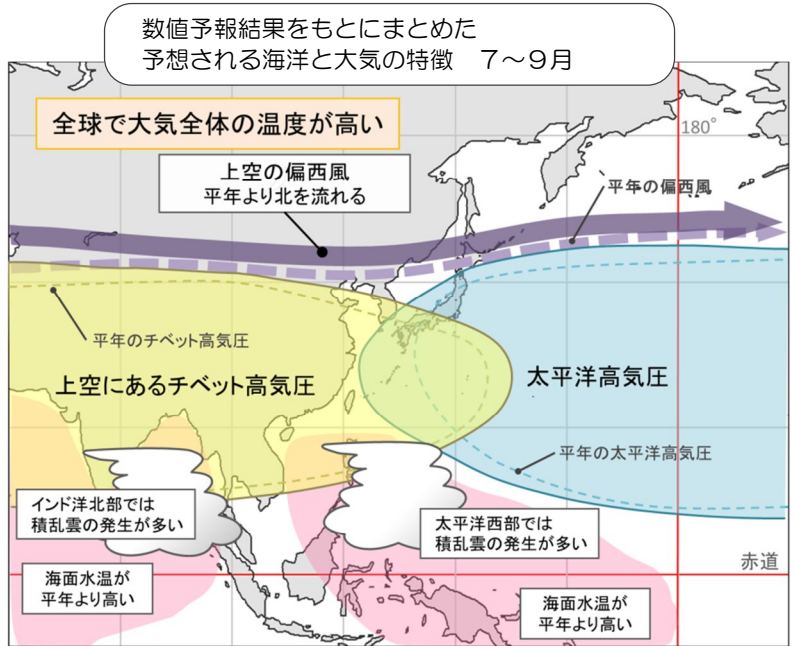
季節予報は、予測の確からしさに応じて、気温や降水量などを「低い（少ない）、平年並、高い（多い）」となる確率で表しています。「平年並」がどの程度の値になるのかについては、末尾の「参考データ（平年並の範囲）」をご覧ください。  
 確率をその大きさに応じ言葉で解説しています。詳しくは末尾の「参考データ（確率予報の解説）」をご覧ください。

月別の平均気温・降水量

	平均気温 7月	平均気温 8月	平均気温 9月
関東甲信地方	低30 並30 高40% ほぼ平年並の見込み	低20 並30 高50% 高い見込み	低20 並30 高50% 高い見込み
 数値は予想される 出現確率です			
	降水量 7月	降水量 8月	降水量 9月
	関東甲信地方	少20 並40 多40% 平年並か多い見込み	少40 並40 多20% 平年並か少ない見込み
 数値は予想される 出現確率です			

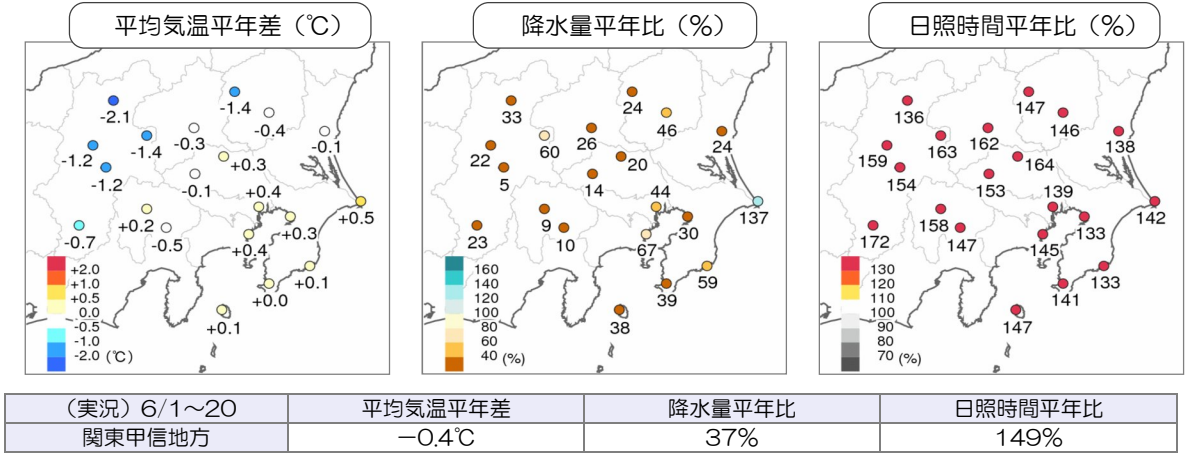
予想される海洋と大気の特徴

- 全球で大気全体の温度が高いでしょう。
- 熱帯の海面水温は、太平洋西部やインド洋北部で高い見込みです。この海面水温に対応して、太平洋西部やインド洋北部では積乱雲の発生が多いでしょう。
- この影響で、上空の偏西風は大陸から日本付近にかけて、平年より北を流れる見込みです。
- このため、太平洋高気圧およびチベット高気圧は、日本付近への張り出しが強い見込みです。また、西・東日本を中心に、湿った空気の流れ込みやすい時期があるでしょう。



今月の天候経過（実況） 6/1～20

関東甲信地方は、期間を通じて高気圧と低気圧の影響を交互に受けました。一方、この時期としては梅雨前線の影響を受けにくかったため、降水量は平年を下回り、日照時間は平年を上回りました。北からの冷涼な空気の影響をたびたび受けたため、気温は平年を下回りました。



参考データ

● 平年並の範囲

	平均気温 3か月	平均気温 7月	平均気温 8月	平均気温 9月
関東甲信地方	平年差：-0.3～+0.3℃	平年差：-0.1～+0.4℃	平年差：-0.4～+0.4℃	平年差：-0.6～+0.6℃
東京	24.5～25.2℃	24.8～25.7℃	26.1～26.9℃	22.2～23.4℃

	降水量 3か月	降水量 7月	降水量 8月	降水量 9月
関東甲信地方	平年比：88～110%	平年比：84～120%	平年比：69～124%	平年比：84～123%
東京	444.8～604.2mm	113.3～166.0mm	123.1～185.5mm	164.3～221.7mm

「平年並」の範囲は、同時期の過去 30 年間（1981-2010 年）の値から統計的に求めています。30 年間のデータの中で「高い（多い）」「平年並」「低い（少ない）」となるデータの数が等分になるように「平年並」の範囲を決めています。すなわち、30 年間の 30 個のデータのうち、値が高い（多い）方から 11～20 番目となる 10 個のデータの値の範囲を、おおよそ「平年並」の範囲としています。

● 晴れ日数と降水日数の平年値

	7月		8月		9月	
	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数
東京	12.3日	10.3日	16.2日	7.7日	11.9日	11.0日

「晴れ日数」は「日照時間が可照時間の40%以上」の日数であり、「降水日数」は「日降水量1mm以上」の日数です。この2つは同じ日に起こることがあるため、「晴れ日数」と「降水日数」の両方に数えられる日もあります。

● 確率予報の解説（ここでは確率予報を次のような言葉で解説しています）

出現確率（低い（少ない）：平年並：高い（多い））	解説
高い（多い）確率が 50%以上 (20 : 40 : 40)	高い（多い）見込み 平年並か高い（多い）見込み
平年並の確率が 50%以上 (40 : 30 : 30) (30 : 40 : 30) (30 : 30 : 40)	平年並の見込み ほぼ平年並の見込み
(40 : 40 : 20)	平年並か低い（少ない）見込み
低い（少ない）確率が 50%以上	低い（少ない）見込み